

議長選立候補者としての決意表明（市民クラブ・本田俊治）

今回で四期目となりますが、この度、8年間所属した会派を離れ、新たな会派において、志を新たに、市民目線を第一とした議会議論とその情報発信に努め、根室市の未来を考えた政策提言・提案のできる議員活動、更には、真に二元代表制の一翼を担う議会を目指すための議会改革の推進に取り組みたいと考えております。

この4年間、議長職を務めさせていただき、議員皆さまと共に、議会基本条例に基づき、市民に開かれた議会、二元代表制の一翼を担う議会を目指した活動、その改善・改革等様々な取り組みを行ってまいりましたが、残念ながら市民皆様には、その取り組みが届いていない様に感じております。

9月3日、この新体制による全員協議会において、新しく加わった議員の挨拶における指摘に対して、4年間議会を代表してきた者として、また、会派の議会対応・準備に積極的に意見を述べ議会審査の活性化に取り組んできた者として、怒りすら覚えましたが、冷静になり考え直しますと、その指摘も市民皆様の議会に対する評価の一つであり、指摘を受けとめ、議会活動について見つめ直すことも必要と今は考えております。

市民の議会に対する関心度については、選挙の投票率低下がその判断材料の一つになるものと考えますが、17回目の今回の選挙では、その投票率は過去最低の55.45%（過去最高は86.47%、80%越え8回）。この結果は、多くの市民皆様の議会活動に対する関心・期待度の低下であり、この事実を真摯に受けとめなければなりませんし、次の4年間は、市民皆様に関心をもっただけ、期待していただける議会を目指す大胆な改革への取り組みが必要であると考えます。

また、議員定数16名による新たな議会は、4人会派1、2人会派5、無所属2名となりましたので、これまでの様な会派単位での活動では、市政全般に対する議会としてのチェック機能を果たすことは難しいものと考えます。一方で、市民皆様に関心をもっただき、期待される議会であるためには、更なる議会改革により、開かれた市民参加型の議会運営、二元代表制の一翼を担う議会を目指す取り組みが必要であり、議員一人ひとりのスキルアップや議員それぞれが専門性の高い得意分野を持つ議員集団となることも議会運営にとって重要なテーマになるものと考えます。

更には、世の中の様々な変革のスピードが加速している中、この変革への対応についても、市民を代表する議会の立場として、市民のために、まちづくり推進のために、迅速な対応・的確な取り組みが求められるものと考えます。

Society5.0、SDGs、カーボンニュートラル、GIGA スクール構想、デジタルガバメント等次から次と横文字が並ぶ様な、社会変革や新たな国策への対応、加えて、地域自ら必要とする新たなテーマなど様々な地域課題に対応し、議会審議・審査を行っていくためには、これまでの会派単位での取り組みには限界があり、会派の枠組みを超えた議員の連携、組織的な学び、政策提言への取り組みが必要です。

議会における主な質疑・議論ですが、これまでは、市民生活・まちづくり推進、市政の行財政運営等に関する様々な市側の提案に対する審査機能であったと思いますが、市民皆様に関心・期待していただける議会を目指すためには、議会が自ら市民生活のために必要とする新たな施策の提案ができる企画力・提案力を持つこと、更には、条例提案のできる議会を目指す議員力・議会力の向上も重要なテーマであり、これらを実現するための議員間連携の仕組みの一つとして、議員個々のスキルアップを支え合う議員間OJTへの取り組みについて、議会一丸となり挑戦することも必要です。

そこで、この四年間の議会運営に当たり、議長選の立候補者として次の姿勢をもって取り組むことを決意表明いたします。

- 議長は議会を代表しますのでその役割を誠実に務めます。とともに、議会運営に当たっては中立性が求められますので、裏表なく公平なジャッジメントに努めます。
- 一方で議会基本条例の着実な推進への取り組みも議長としての重要な役割でありますので、議員一人ひとりのスキルアップや各議員が専門テーマを持つ議員集団になること、会派の枠組みを超えた議員の連携、組織的な学び、政策提言への取り組み、条例提案のできる議員力・議会力の向上等を目指して、議員間連携の在り方について検討の場を早期に設け、出来る事からすぐに実施します。
- まちづくり推進や行財政運営、更にはコロナ禍における迅速な対応等市長部局提出の議案の審査過程においては、また、今後想定する議会提案の政策の立案作業は、会派の枠組みを超えて一つの議会として議論することが可能であり、議員間討議・協議の仕組みづくりを加速します。
- 無所属議員についても議会運営に参加、その役割を担える仕組みを作ります。
- 議会の情報発信・活用機能の強化充実と ICT 活用する議会 DX に挑戦します。

以上のことを目標として、市民皆様に関心をもっていただける、期待していただける議会を目指す、新たな戦略的な議会運営に挑戦します。

議会は変わらなければなりません。そのための挑戦が必要です。これまでの枠組みを超えた議員連携の仕組みづくりに、議員皆様と共に取り組んでいただきたいと思います。

change、challenge、collaboration は、根室市の第2期創生総合戦力に掲げる3つのC、この3つのCは、市民の代表であり、まちづくりを審議・審査するこの市議会が生まれ変わるためのキーワードでもあります。

この挑戦こそが、市民に開かれた議会、二元代表制の一翼を担う議会を目指す議会改革です。共に、取り組みましょう。

以上、決意表明といたします。